



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月29日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,126	△40.8	△4,183	—	△3,135	—	△3,208	—
2020年3月期第2四半期	17,118	△39.3	△2,710	—	△2,899	—	△2,061	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △4,464百万円( —%) 2020年3月期第2四半期 △3,384百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△92.98	—
2020年3月期第2四半期	△58.06	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	121,234	102,970	84.9
2020年3月期	130,695	107,950	82.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 102,933百万円 2020年3月期 107,911百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	15.00	35.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	25,000	△24.7	△8,500	—	△7,000	—	△7,200	△208.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	35,800,000株	2020年3月期	35,800,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,288,101株	2020年3月期	1,288,926株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	34,511,528株	2020年3月期2Q	35,511,462株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	13
受注及び販売の状況	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では雇用環境が緩やかに改善し経済回復の兆しが見られますが輸出が伸び悩み、その持続性は不透明であります。欧州では新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念、雇用環境の悪化など景気の先行きは見通せない状況です。中国では外需の持ち直しを受け輸出は緩やかな回復傾向にあります。世界経済をけん引するほどの力強さはありません。わが国においては緊急事態宣言が解除され経済活動再開の動きはあるものの、企業業績の悪化や設備投資の抑制は継続しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループが製品を供給するアパレル産業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続し、外出自粛による消費マインドの低下や需要環境の回復が見込めない大変厳しい状況にあります。さらにアパレル業界における環境意識の高まりから商品の過剰生産や在庫数量を抑制する動きが継続し、工場サイドでも設備投資マインドは低調なまま推移しました。

当社グループはこうしたユーザー業界の課題解決に向けて、マスカスタマイゼーション、オンデマンド生産を可能にするホールゲーム横編機、3DデザインシステムSDS-ONE APEX4を核に、デジタル技術を駆使した新しい生産の仕組みなどのトータルソリューション提案を強化すると同時に持続可能なモノ作りのさらなる浸透を図りました。さらに世界各地の糸を検索・閲覧・ダウンロードできる世界初のウェブサービスである『y a r n b a n k』(デジタルヤーンソーシングウェブサイト)を開設し、糸メーカー、アパレル、ニットメーカーなどサプライチェーン全体をデジタルで繋げる新たなサービスを提案するなどユーザーの投資意欲を喚起することに注力しましたが、世界各地域の何れにおいても伸び悩み売上高の回復には繋がりませんでした。この結果、横編機事業全体の売上高は62億38百万円(前年同四半期比47.7%減)となりました。

デザインシステム関連事業においては、3Dデザインシステム「SDS-ONE APEX4」は横編機事業の不振に連動して販売台数が減少したこと、また自動裁断機「P-CAM」についてもテキスタイル分野での需要の落ち込みにより販売が低調となり、事業全体の売上高は8億38百万円(前年同四半期比52.9%減)となりました。

手袋靴下編機事業は大手ユーザーの設備投資が順調となり、売上高は9億92百万円(前年同四半期比145.2%増)となり、その他事業の売上高は20億56百万円(前年同四半期比31.8%減)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間全体の売上高は101億26百万円(前年同四半期比40.8%減)と大幅な減少となりました。利益面におきましては、売上高が大きく減少したことに加えて、販売単価の下落や生産調整に伴い工場操業度が低下したことにより売上総利益率が悪化し、またコストダウンに努めましたが売上高の減少に伴って販管費率が上昇したことで営業損失41億83百万円(前年同四半期は営業損失27億10百万円)の計上となりました。また経常損失は31億35百万円(前年同四半期は経常損失28億99百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失32億8百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失20億61百万円)となりました。

なお、前第1四半期より当社グループの連結決算においてSHIMA SEIKI U.S.A. INC.、SHIMA SEIKI EUROPE LTD. および SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U. の3社について、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したため、前年同期の経営成績には当該連結子会社の2019年1月1日から2019年9月30日までの9ヵ月間の業績が反映されております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は受取手形及び売掛金の減少などで前連結会計年度末に比べ94億61百万円減少し、1,212億34百万円となりました。負債合計は買掛債務や短期借入金の減少などで前連結会計年度末に比べ44億81百万円減少し、182億63百万円となりました。また自己資本の額は、1,029億33百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.3ポイント上昇し84.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において売上債権の減少などで5億46百万円の資金の増加(前年同四半期は17億43百万円の資金の増加)となりました。投資活動においては投資有価証券の売却による収入などにより20億29百万円の資金の増加(前年同四半期は14億91百万円の資金の減少)となりました。また財務活動におきましては短期借入金の返済や配当金の支払いなどにより31億30百万円の資金の減少(前年同四半期は12億79百万円の資金の減少)となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて5億87百万円減少し、209億95百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月5日に公表いたしました「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の通期業績予想及び配当予想について以下の通りといたしました。

## ① 業績予想

(1) 2021年3月期通期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
今回発表予想	百万円 25,000	百万円 △8,500	百万円 △7,000	百万円 △7,200	円 銭 △208.63
前期実績 (2020年3月期)	33,206	△5,602	△5,583	△8,427	△239.68
対前期増減率(%)	△24.7	—	—	—	—

(2) 2021年3月期通期個別業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
今回発表予想	百万円 18,600	百万円 △7,100	百万円 △5,900	百万円 △5,900	円 銭 △170.96
前期実績 (2020年3月期)	26,096	△5,807	△5,775	△8,053	△229.05
対前期増減率(%)	△28.7	—	—	—	—

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報に基づき業績予想を算定いたしました。

新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せず、依然として先行きは不透明な状況が続いております。こうした事業環境に対応するため、『y a r n b a n k』の充実とSDS-ONE APEXソフトウェアのサブスクリプションサービスである『APEX F i z』(アパレルデザインソフトウェア)の新サービスを開始するなど、ホールゲーム横編機、3DデザインシステムSDS-ONE APEX4を中心としたトータルファッションシステムの強化を行い、サプライチェーン全体の改革を目指します。このような業績改善に向けた取組みとあわせて積極的かつ継続的なコスト削減等による収益力の向上に努めてまいります。また、この公表に伴い、2021年3月期を最終年度とする3ヵ年の「中期経営計画」の経営目標数値を上記のとおり修正いたします。

## ② 配当予想

2021年3月期 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
前回発表予想	円 銭 10.00	円 銭 未定	円 銭 未定
今回発表予想		10.00	20.00
当期実績	10.00		
前期実績 (2020年3月期)	20.00	15.00	35.00

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置付け、事業の持続的発展を通じて、安定した配当を長期にわたって継続することを基本方針としております。しかしながら、2021年3月期においては上記の通り大幅な損失計上の見通しとなることから、2021年3月期の期末配当予想を1株当たり10円とさせていただきます。これにより、2020年8月5日発表の中間配当金10円とあわせて、年間配当金は1株につき20円とする予定であります。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,641	21,084
受取手形及び売掛金	51,248	46,666
商品及び製品	10,563	9,380
仕掛品	840	1,083
原材料及び貯蔵品	7,007	7,655
その他	1,266	1,010
貸倒引当金	△3,097	△3,328
流動資産合計	89,470	83,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,833	6,520
土地	12,158	12,201
その他（純額）	7,972	7,551
有形固定資産合計	26,964	26,273
無形固定資産		
のれん	2,566	2,300
その他	365	329
無形固定資産合計	2,931	2,629
投資その他の資産		
投資有価証券	7,515	5,578
退職給付に係る資産	1,276	1,101
その他	4,504	3,724
貸倒引当金	△1,967	△1,625
投資その他の資産合計	11,328	8,779
固定資産合計	41,224	37,682
資産合計	130,695	121,234

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,112	757
電子記録債務	416	352
短期借入金	8,162	5,819
未払法人税等	118	129
賞与引当金	1,196	995
債務保証損失引当金	293	279
その他	4,993	4,029
流動負債合計	17,292	12,362
固定負債		
長期末払金	974	967
リース債務	2,932	2,663
退職給付に係る負債	730	1,530
その他	814	738
固定負債合計	5,452	5,900
負債合計	22,744	18,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	23,423	23,424
利益剰余金	81,415	77,688
自己株式	△3,937	△3,934
株主資本合計	115,761	112,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	306	357
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△1,488	△1,951
退職給付に係る調整累計額	336	△507
その他の包括利益累計額合計	△7,849	△9,104
新株予約権	25	23
非支配株主持分	14	13
純資産合計	107,950	102,970
負債純資産合計	130,695	121,234

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	17,118	10,126
売上原価	10,832	7,576
売上総利益	6,285	2,550
販売費及び一般管理費	8,995	6,733
営業損失(△)	△2,710	△4,183
営業外収益		
受取利息	151	175
受取配当金	91	88
助成金収入	-	572
その他	255	323
営業外収益合計	498	1,159
営業外費用		
支払利息	91	44
固定資産賃貸費用	42	41
為替差損	542	-
その他	10	25
営業外費用合計	686	111
経常損失(△)	△2,899	△3,135
特別利益		
固定資産売却益	-	38
投資有価証券売却益	-	118
特別利益合計	-	157
特別損失		
投資有価証券評価損	-	67
特別損失合計	-	67
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,899	△3,045
法人税、住民税及び事業税	149	71
法人税等調整額	△986	92
法人税等合計	△837	164
四半期純損失(△)	△2,061	△3,209
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,061	△3,208

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,061	△3,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	50
為替換算調整勘定	△1,234	△462
退職給付に係る調整額	△41	△843
その他の包括利益合計	△1,322	△1,254
四半期包括利益	△3,384	△4,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,384	△4,463
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,899	△3,045
減価償却費	1,184	1,158
のれん償却額	197	196
貸倒引当金の増減額(△は減少)	723	110
賞与引当金の増減額(△は減少)	257	△199
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△109	29
受取利息及び受取配当金	△243	△264
支払利息	91	44
為替差損益(△は益)	△185	△196
有形固定資産除売却損益(△は益)	-	△38
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△118
投資有価証券評価損益(△は益)	-	67
助成金収入	-	△572
売上債権の増減額(△は増加)	2,556	4,409
たな卸資産の増減額(△は増加)	451	393
その他の流動資産の増減額(△は増加)	295	144
仕入債務の増減額(△は減少)	△166	△1,561
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△748	△705
その他	229	181
小計	1,635	33
利息及び配当金の受取額	240	261
利息の支払額	△92	△52
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△39	△79
助成金の受取額	-	384
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,743	546
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△41	△53
定期預金の払戻による収入	16	22
有形固定資産の取得による支出	△1,318	△425
有形固定資産の売却による収入	2	105
投資有価証券の取得による支出	△30	△202
投資有価証券の売却による収入	-	2,309
短期貸付金の純増減額(△は増加)	-	50
その他	△118	224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,491	2,029
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△2,127
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△391	△485
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△886	△517
その他	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,279	△3,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	△381	△33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,408	△587
現金及び現金同等物の期首残高	26,849	21,582
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,440	20,995

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,917	1,780	404	14,103	3,014	17,118
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,917	1,780	404	14,103	3,014	17,118
セグメント利益又は 損失(△)	152	33	△34	151	355	507

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	151
「その他」の区分の利益	355
全社費用(注)	△3,217
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△2,710

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しており、当第2四半期連結累計期間は2019年1月1日から2019年9月30日までの9ヵ月間を連結しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,238	838	992	8,070	2,056	10,126
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,238	838	992	8,070	2,056	10,126
セグメント損失(△)	△1,004	△19	△165	△1,188	△17	△1,206

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△1,188
「その他」の区分の損失	△17
全社費用(注)	△2,976
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△4,183

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## 【関連情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
3,715	3,232	464	9,121	584	17,118

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
2,339	2,035	363	4,817	570	10,126

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

## 3. 補足情報

## 受注及び販売の状況

## ①受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期 増減率	受注残高	前年同四半期 増減率
横編機	4,779	△55.9%	1,454	△28.5%
デザインシステム関連	1,149	△37.7%	506	65.3%
手袋靴下編機	1,093	45.4%	202	△60.9%
合計	7,021	△47.7%	2,163	△24.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期増減率
横編機	6,238	△47.7%
デザインシステム関連	838	△52.9%
手袋靴下編機	992	145.2%
その他	2,056	△31.8%
合計	10,126	△40.8%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。